

# 令和5年度 事業計画

## I 法人本部

### 1. 広報普及活動

- ①定期刊行物（いただきます）他会員向け情報の発信 年3回
- ②正会員向けおよび子ども食堂メール会員へメールニュースの発信
- ③各種寄付ページの更新、内容充実（Yahoo! ネット募金・ぽちっと基金・つながる募金、遺贈寄付 Readyfor との連携等）

### 2. 研修活動

- ①食でつながるフェスタ全国集会 in 東京 2023  
開催日：2023年8月11日（金・祝）  
会 場：東京ボランティア・市民活動センター  
内 容：検討中
- ②第12回 地域の居場所づくりサミット（主催キューピーみらいたまご財団に共催協力）  
開催日：6月17日（土）10:00～12:20  
会 場：キューピー株式会社 本社ホール  
内 容：食育や食の居場所づくりに関する講義・事例報告、オンライン交流会
- ③第13回 地域の居場所づくりサミット（主催キューピーみらいたまご財団に共催協力）  
開催日：11月3日（金・祝）未定  
会 場：未定  
内 容：助成事業説明会、食育や食の居場所づくりに関する講義、事例報告
- ④食事サービスを考えるつどい（東京食事サービス連絡会と共催）検討中  
開催日及び会場：未定

### 3. 活動審査・評価等

- ①みずほ教育福祉財団 電気自動車寄贈団体の推薦
- ②キューピーみらいたまご財団助成プログラムB「食を通じた居場所づくり支援」助成事務局
- ③毎日新聞東京社会事業団「子ども食堂運営継続応援プロジェクト」助成事務局
- ④24時間テレビ助成事務局
- ⑤ニチレイ MIRAIterrace 財団 「食を通じた居場所づくり応援プロジェクト」助成事務局

### 4. 食環境の整備・ロジシステム推進活動

【目的】

- ①サポートセンターの活動を通して、子どもたちの状況（孤食・共食体験の不足・見えない貧困など）を知ってもらい、社会の中で孤立しがちな子どもとその家庭を見守る新たな支え合いのコミュニティとしての「こども食堂」等子どもの居場所の取り組みを、広く知ってもらう。
- ②すでに活動を始めている団体は、運営費の持ち出しがあるなど、活動を安定して継続する上での課題がある。一方で「子どもたちのために、何かしたい」という思いを持つ個人・企業は多く、当会への相談も増えている。支援の新たなしくみを開発し、適切な団体・機関につなぎ、社会全体の支え手を増やすことで、住みよい地域づくりに貢献しようとする人のすそ野を広げる。

#### 【実施すること】

##### ①食でつながるフェスタ開催・研修等を通じたネットワーク形成支援

シンポジウムへの講師派遣等の他、2017年より実施している研修会「食でつながるフェスタ」の開催支援を行う。食フェスタ等を通じて、運営ノウハウ（衛生管理・食育・子どものケアや関わり方など）に関する情報発信、モデル事例伝播、活動地域の相談機関の紹介など、個別相談の対応を行う。

開催予定地：北海道、東北、関東甲信越、関西、四国、九州他 から2ヶ所程度

各地で実行委員会形式にて8月～2月頃までに開催予定（休眠預金事業 実行団体の実施も予定）

参加対象：こども食堂・子どもの居場所運営団体、子ども支援関係者、自治体、社協、企業、学生等、幅広く参加を募る

##### ②企業等各種団体の社会貢献活動との連携

- ・Yahoo 募金／ぽちっと募金ページの運用管理
- ・アサヒ飲料および三井住友ファイナンス&リース

子どもの居場所づくり活動に関心のある方や「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」に賛同いただける企業・行政・団体等に本自販機を設置いただく。本自販機を設置いただくことで収益の一部およびリース料の一部が寄付に充てられる。その寄付をプロジェクトに充てることで、持続可能な仕組みとなることを目指す。

##### ③各種企業からの協賛・支援獲得

【食品・物品の寄贈】ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムの仕組みを活用して、キューピーみらいたまご財団／ロッテ／日新製糖／アサヒ飲料からの寄付食品のマッチング

定期的な食品の寄贈を受ける他、他企業や生協・行政等から寄贈を受け、本プロジェクトを通して分配することで、プロジェクトの課題を明らかにし、改善に取り組むとともにブラッシュアップを図る。そのほか多様なセクターが参加できる学習会を開催し、本プロジェクトに対する理解の醸成と参画を働きかける。

【資金による協賛】2022年度に協賛いただいた企業に対し継続協賛を呼び掛ける他、新規の協賛獲得に向け学習会や催事での発信を行う。

#### ④ロジシステム説明会の開催

企業・行政・活動団体がゆるやかに連携することで、食を通じた居場所づくり活動が持続可能な活動となることを目指すとともに、「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」への参画を呼び掛ける。

【開催地域】3 地方 4 県で開催

【頻度】3 か月に 1 回

【プログラム概要】全国的な食料支援の取り組み状況の説明／各自治体や民間機関・団体による好事例の共有／グループディスカッション など

#### ⑤物流支援プロジェクト検討委員会の開催

【実施概要】ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステムの推進もって全国の食支援活動団体へ寄贈食品が行き届く環境を整備するため、物流・保管の課題解決に取り組む。

【頻度】1 か月に 1 回

#### ⑥ロジシステム（WEB）の保守・開発

引き続き「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」に賛同いただける拠点・団体を対象にシステムへの登録案内を行う。また登録後の利用状況を確認し、利用されていない拠点・団体については動画マニュアル等を案内し個別フォローすることで利用率を向上させる。

※上記活動について、農林水産省補助事業「フードバンク活動支援：フードバンク活動団体の先駆的取組支援」（申請予定）

【申請事業概要】全国へ食品が安定的に・持続可能なかたちで届く環境整備を目的に、説明会・研修会・SDGs セミナーの開催、WEB システムの保守・開発、ネットワーク形成支援を行う。

【事業実施期間】2023 年 6 月～2024 年 3 月

【総事業費】20,000,000 円（内補助は 1000 万を想定）

## 5. ネットワーク形成

### ①「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議 の開催

地域での継続的否ネットワーク支援を目的に、子ども支援関係機関が会合う場として推進委員会を開き、その中で小規模な学習会を開催する。こども食堂サポートセンターの運営・支援方針の検討、先進的な活動事例や自治体・社協・企業・生協等による支援の好事例を共有することで、団体として運営をサポートできる支援体制の構築を図る。

【開催頻度】2023 年度は年 4 回程度、都内にて開催予定

【メンバー構成】25 名程度を予定。こども食堂、プレーパーク、児童館、母子生活支援施設、子育てひろば、ボーイスカウト、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、各地域のネットワーク他の子ども支援関係機関

【内容】委員会／事業進捗状況の共有、こども食堂サポートセンターの運営・支援方針の協議学習会／報告者を招いて先駆事例を報告し、モデル事例を共有・伝播する

## ②子どもの居場所づくりのための SDGs 交流セミナーの開催

多様な機関による協働プラットフォームの構築を目指し、「子どもの居場所づくり推進にむけた学習会」を年2回程度開催する。

【内容】学習会を通じた先駆事例の共有、協働に向けた意見交換

## 6. 制度政策・活動推進に関する委員会等

- ①東京都社会福祉協議会「地域福祉推進委員会」（平野）
- ②広がれボランティアの輪連絡会議構成団体
- ③新宿区協働支援会議委員（平野）
- ④孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム会員
- ⑤「広がれ、こども食堂の輪！」推進会議構成員・事務局

## 7. その他

- ①都道府県・市町村等の生活支援サービスの創出に向けた人材育成研修受託
- ②支え合いを広げる住民主体の生活支援フォーラム開催協力（住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会、全国移動サービスネットワークとの共催）
- ③大学と連携したインターンシップ受け入れ、講義への講師派遣（社会的企業研究会）

## II プロジェクト

### 1. 休眠預金活用事業 「食の物流ネットワーク整備プロジェクト」〔2020年度～2023年度〕（確定）

【目的】中間支援・ネットワーク団体とともに、企業や団体からの食品等の寄付物品を受け入れる中核拠点と、細分化して分配する機能を有するハブ拠点を設け、地域の小規模な子どもを中心とした食の居場所等が企業の支援にアクセスできる新しいロジシステムを整備する。加えて企業・行政・NPO等から成る寄付等地域資源を循環させるプラットフォームの構築を狙いとする。

【事業実施期間】2020年11月～2024年3月

【実行団体】一般財団法人北海道国際交流センター／特定非営利活動法人フードバンク山口／鳥取市地域食堂ネットワーク／特定非営利活動法人NPOホットライン信州

【重点目標】各地域のプラットフォーム形成・食フェスタ開催に向けた支援、事後評価設計・実施、事業終了後を見据えた団体の組織基盤に関して評価アドバイザーとともに助言・伴走を実施する。寄贈物流のネットワーク整備に向けて、物流業界の全国組織や農水省等と連携し、ロジハブ説明会等で連携事例を発信し、社会的広報に注力する。

【事業費】43,797,380円

うち実行団体へ助成：5,280,000円

## 2. 休眠預金活用事業 「多世代が食でつながるコミュニティづくり」〔2022年度～2025年度〕(確定)

【目的】対象者別制度や枠組みに囚われない食に関する居場所の機能及び地域住民のエンパワーメントに着目し、地域に住まう様々な人のごちゃ混ぜ感を前提とした「共助」モデルを創出する。

【課題と方策】現在講じられている様々な施策は、行政のタテ割りや利用対象者別に細分・限定されている現状があるが、食は子どもから高齢者まで全世代に関わる事であり、まちづくり、学習支援、若者、社会的養護や貧困の課題に関わる多様な居場所との融和性ももつと考える。本事業では居場所の伴走・中間支援機能を果たし、行政・企業・社協他まちづくり団体等との協働促進を担うほか、居場所に関わる既存の地域福祉人材（生活支援コーディネーター・地域福祉コーディネーター）が充実するための研修活動を広域的（複数市域）に行うことで、持続可能な居場所づくりのためのプラットフォームを構築する。

【事業実施期間】2022年11月～2026年3月

【実行団体】NPO法人いるか、(社)コミュニティシンクタンク北九州、(社)ひとり親家庭福祉会  
ながさき、NPO法人U.grandma Japan、(社)いなかパイプ、NPO法人ワーカーズコレクティブう  
いず、(社福)青森県社会福祉協議会、(社)LALASOCIAL

【重点目標】居場所に関わる既存の地域福祉人材（生活支援コーディネーター・地域福祉コーディネーター）が充実するための研修活動を広域的（複数市域）に行うために、各地域の協議体形成・食フェスタやロジハブ説明会開催に向けた支援、団体の組織基盤、内部評価体制整備に対して評価アドバイザーとともに助言・伴走する。

【事業費】211,085,000円

うち実行団体へ助成：150,000,000円

## 3. 厚労省 令和5年度老人保健健康増進等事業「『食』を通じた高齢者の居場所づくり活動への支援プラットフォームの形成に関するモデル事業」(申請中)

【申請事業概要】「食」を通じた高齢者の居場所づくりに取り組む活動は、担い手の高齢化や資金不足の課題をもつ団体が多い。これらの活動が継続できるよう、第1層/第2層協議体が食材や活動資金、人材等のリソースを地域の活動に提供できるようになる必要がある。そこで、既存の第1層協議体を設置している自治体をモデル地域とし、モデル地域の協議体に対するネットワーク形成支援をしながら、その協議体がネットワークを広げていくプロセス等を調査する。また最終的にモデル事例の報告として、協議体関係者/生活支援コーディネーター/市区町村担当者等を対象とした成果発表会を開催する。

【事業実施期間】2023年6月～2024年3月

【総事業費】15,364,000円

## 4. 休眠預金事業「食を通じたセーフティネット構築にむけた、居場所活用プログラム構築事業」(仮)〔2023年度～2026年度〕(申請予定)

【申請事業概要】こども食堂等こどもの居場所づくり団体がコロナ禍により、在宅への食料配布時にお

ける、ひとり親家庭や生活困窮世帯における生活課題を発見する機会があると聞き及ぶ。しかしながらこうしたインフォーマルな在宅支援に取り組む団体の実態が分かりづらいこと、また公的な福祉制度外で活動をしていることから団体活動に対してフォーマルな支援体制は整備されていない。本事業は、こうした活動をしていることも食堂等の居場所づくり団体を支援する中間支援のモデルをタイプ別に各地で展開することで、「食＋ソーシャルワーク」の機能の有用性と団体支援のノウハウの共有化を図る。

本事業を推進するにあたっては、企業の社会貢献を促すために寄贈食品を全国に配分するしくみである「ミールズ・オン・ホイールズ ロジシステム」の導入を図ることで、各地の居場所づくり団体に対する支援として、中間支援組織と連携することで、「食＋ソーシャルワーク」のモデルを普及するための環境整備に努める。

【事業実施期間】2023年12月～2027年3月

【想定する実行団体】社会福祉協議会のほか、高齢者の居場所作り支援を行う活動団体・中間支援団体・まちづくり団体等

【総事業費】220,000,000円

## 5. 「食支援活動調査」の実施

### 5-1 食支援活動調査

支援機関・地域福祉職との連携、活動の継続に向けた現状と課題を把握することを目的に、「食」を伴う居場所づくりの支援にかんする調査を行う。

調査対象：食のある居場所団体向け

調査方法：オンライン調査

実施地域）休眠預金事業22年度通常枠実行団体活動地域7県（予）

実施時期）2023年6月頃を予定

### 5-2 協議体や福祉専門職の課題を把握するための調査

SC・CSW・包括支援センター等の相談機関が地域での居場所づくり活動など生活支援を推進する際に必要とされているリソースと協議体の課題を把握するために、ご協力を頂ける地域を対象に実施を予定する。

調査対象：自治体・社会福祉協議会

調査方法）オンライン調査

実施時期）2023年6月頃を予定

## 6. MOWSA（ミールズ・オン・ウィールズ・サウス・オーストラリア）交流プロジェクト

南オーストラリアのアデレードにあるMOWSA、サウスオーストラリア・ミールズオンホイールズ協会との交流を継続している。今年度は南オーストラリアの法人本部と活動拠点に訪問し、互いの食支援活動の情報交換及びMOWSAメンバー・活動ボランティアとの交流を図る。

訪問予定日：2023年4月15日～23日

A MOW会議4/18, MOWSA BOARDとの情報交換会4/19

## 7. 令和5年度厚生労働省補助事業「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」の実施

(公募された場合は申請を予定)

【目的】主に子育て世帯を中心とする生活困窮者に対して食を通じた支援を行う団体に対し食品購入(生活必需品・学用品を含む)と活動実施のための助成と食品等の提供を実施することで、その活動の継続支援を行うことを目的とする。

【実施期間】2023年度

【実施内容】

### ①助成事業

新型コロナウイルス感染症の影響等により困窮するひとり親家庭を始めとした、要支援世帯の子ども等を対象とした子ども食堂、子ども宅食、フードパントリー等の活動を行う団体に対し、事業実施経費を助成する。

### ②活動支援事業

新型コロナウイルス感染症の影響等により困窮するひとり親家庭を始めとした、要支援世帯の子ども等を対象とした子ども食堂、子ども宅食、フードパントリー等の活動を行う団体に対し、活動に使用する食品を提供。(株)高島屋に本事業用の食品購入サイトを用意いただき、申込団体が付与された金額内の食品をサイト上で購入する方法で実施。

【総事業費】300,000,000円(助成上限)の内、状況に応じて申請する予定